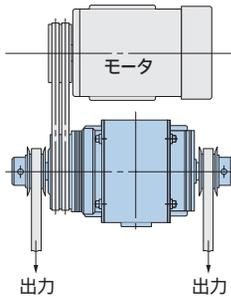


用途例・使用例

電磁クラッチ・ブレーキユニット

出力を2系統とする例

出力軸が2ヶ所使用できますので、同時に出力をとったり一方を負荷と連結し、もう一方を回転検出円板などを取り付けて使用することもでき、様々な伝達経路のレイアウトが可能です。

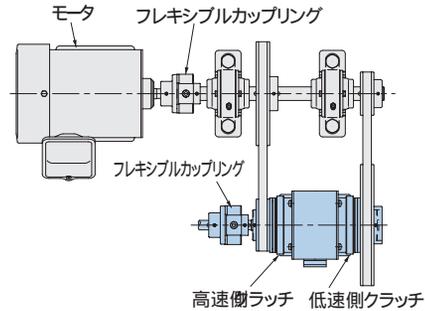


掲載ページ 7-177 ~ 7-179

電磁クラッチ・ブレーキユニット

2段変速に使用した例

2段変速するには、2つのハブにそれぞれ高速と低速の動力を連結しておき、クラッチを切り替えることによって出力軸を高速回転させたり低速回転にしたりします。

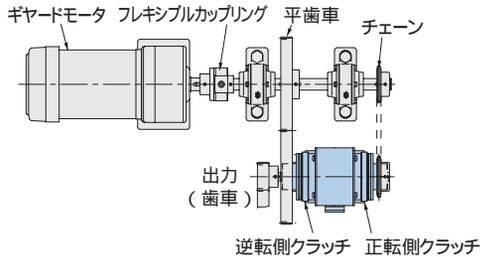


掲載ページ 7-177 ~ 7-179

電磁クラッチ・ブレーキユニット

正逆運転に使用した例

このユニットにはブレーキがありませんので、正逆転は、比較的低速であるいは軽負荷の場合に有効です。図の例では、駆動側回転軸からチェーンと平歯車で正逆回転をとり出し、おのおのハブに連結します。そしてクラッチを切り換えることによって、出力軸は正転・逆転をくり返します。そのほかに、モータ2台による正逆転の方法もあります。

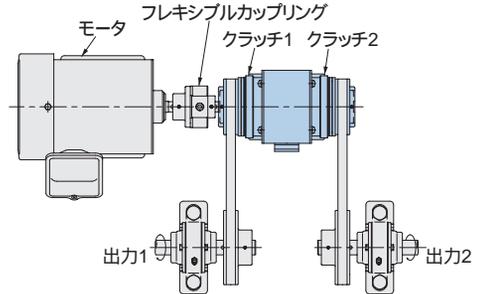


掲載ページ 7-177 ~ 7-179

電磁クラッチ・ブレーキユニット

動力分配に使用した例

軸から入力し、任意の時間で、おのおののクラッチをON/OFFできますので、1台の動力で2台分の働きをします。また、それぞれの出力軸に検出機構を設けると、簡単な同期運転が可能となります。

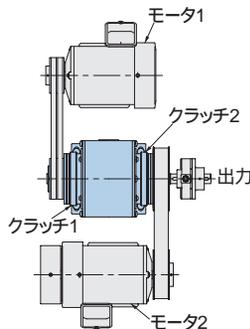


掲載ページ 7-177 ~ 7-179

電磁クラッチ・ブレーキユニット

正逆に使用した例

2台のモータを用いた正逆回転の例です。モータは常に回転を続け、クラッチの切換えによって正・逆転が得られ、その間に任意に負荷を止めることができます。

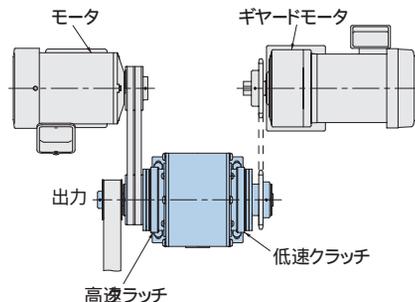


掲載ページ 7-177 ~ 7-179

電磁クラッチ・ブレーキユニット

2段変速・停止に使用した例

高精度の位置停止や巻線機の巻き数制御などは、このユニットを用いて、低速 高速 低速 - 停止といった一連の動作により、簡単でしかも高精度な制御ができます。



掲載ページ 7-177 ~ 7-179